

# 合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第 I 項 看護 学部 看護 学科

出身高校名 西南学院高校

## (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

1つ目はキリスト教の隣人愛の精神を基盤として教育を行、2つ目は同志社女子大学で看護を学べたことから、校内で看護技術を学び、実践できる環境・設備が充実している。3つ目は全国各地からたくさんの方が入学してくるという、他学部の人たちとも交流できる環境にあると考えたから。4つ目は学生生活サポートが充実しており、安心感があってから。また、オープンキャンパスに参加した時、対応してくださった先輩方が笑顔で、楽しそうに学生生活のことを話してくださったのを見て、入学したいと強く思ったから。

## (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

全国の看護学部から進学先を探している中で、同志社女子大学のAO入試は、学校や教会を経験したこと、頑張ったことを直接話すことができる場であるから。学力だけではなく、人間性を見てくださいという入試なので、自分のことをアピールして知ってもらえることができると感じた。教会に通っていることもあり、私に合った受験方法だと思い、受験することを決めた。絶対に同志社女子大学に入りたいという思いがあり、募集人数は少なく不安ではあったが、チャンスだと思った。

## (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

高校での部活動でたくさんのボランティア活動を行、できたこと、三年間続いた国際交流行事に参加したこと、教会での自分の役割、教会の中高生を集める集会や修養会をする時に企画・運営をしたこと、経験から何を考え、何に悩み、どう解決してきたかを伝えた。資格は英検を受けていたの、国際交流と関連してアピールした。これらの経験から大学で何をしたいかという所につまみられる材料を多くアピールした。

## (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

### 〔出願書類作成〕

文字数が900字のまとまりのよい文章にならないように、伝えたいことのポイントと流れを大事にして何回も書いた。その度に、添削担当の先生と面談をしながら自分の伝えたいことを簡潔に明快な言葉で伝えることができる文章を作成することを大切にしていた。間違えたら修正テープなどは使わないので、予備の書類を準備して、コピーをとって何回も練習した。

### 〔面接〕

面接練習は自分の言葉で答えられるように事前に面接で伝えたいこと、アピールしたいことをまとめてから、複数の先生に模擬面接をしてもらった。同じ内容の質問でも異なる視点で問われることもあるので、キーワードだけ頭に用意して、丸暗記のように話すことがないように心がけた。宗教的な質問もあると聞いていたので高校の聖書の先生にも模擬面接をしてもらった。本番では相手の目を見て、ゆっくりと大きな声で話そうと努めた。

## (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO方式は自分のことをアピールする場なので自分のことをよく知ることが大事だ。なぜこの分野を学びたいのか、なぜ同志社女子大学に入りたいのかなどを考えたうえで目標などが明確になり、より充実した大学生活を迎えることができると思う。書類作成はたくさん書くことがあるので早め早めに取りかかる方がいい。勉強と両立しながら作成することは難しいと思うが、周りの人たちに相談しながら、自分が後悔をしないように精一杯頑張ってください！